

編集後記

▼「古代学研究」№一号を送るにあたり会員諸兄弟の御援助を心から感謝する。幾度も挫折に直しつつ、こゝに雑誌となって登場した。敬しい内容の御批判を待つ。

▼題名は思ひきつて「古代学研究」とした。考古学と云う名詞から受ける感じが我々の若さとマッチしない故でもあるし、歴史考古学に分野をも包括し度いからでもある。

▼内容は量的には戦後のどの雑誌にも負けないつもりだ。質的には若さの荒彫りの生々しさもあるが、それが又特異性でもある。

北野君の石櫓は資料とし、宇佐氏の延喜式と瓦の重量は理論の斬新さに於てそれぞれ力作であろう。

▼日本陶指地名表は斎藤・森の苦心の編集になる。我々ばかりの仕事で現在の学界には基礎的に必要と信じ号毎に掲げ度い。次号には近畿地方の前方後円墳を計画している。尚、陶指地名表についてお気付きの点は御教示をお願いします。

▼さて古代学研究は前金を取らず、予約者に発刊の都度、御通知する事に定めた。これは戦後の多くの雑誌が前金を取ったまゝ沈黙を守る悪弊を更めたいからである。 (森)

雑誌 古代学研究 規約

1. 古代学研究は当今年二冊の刊行とする。
 2. 本誌への投稿は会員及び会員の紹介ある者に限る。
 3. 原稿は横書き、図稿は必ず墨書のこと。
 4. 本誌の購読希望の方は住所、姓名を記し申込むこと。
- 前金制にせず、刊行の都度通知します。

学生考古学研究会 規約

1. 本会々員は高等学校以上の学生と徒及び一般社会人をもって組織する。
2. 会員は年額学生120円、社会人200円(二期分納可)とする。
3. 本会は会員相互の共同研究によつて学界に寄与すると共に、見学会講演会、研究会等積極的専業を行い、又雑誌古代学研究を刊行する。
4. 本会の役員は委員長1名、委員10名(常任5名)とし、委員は会員中より選出する。

吉備地方 遺物発見地名表 60円
先史時代 76円

吉備考古 77号 60円
押捺文遺蹟特輯 76円

吉備考古 78号 10月発行予定

申込みは

岡山市門田御成町1149

大本琢寿へ

振替 岡山 3923

(広 告)

古代学研究 №一号

定価 50円 送料10円

昭和24年8月5日 印刷

昭和24年8月10日 発行

編集兼 発行 森 浩 一

印刷者 辻野光男

事務所 堺市八代通2丁16 杉本憲司方

学生考古学研究会